

令和3年8月20日

令和2年度 特別の教育課程の実施状況等について

広島 県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
神石インターナショナルスクール	学校法人 神石高原学園	私立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等
神石インターナショナル スクール	令和2年度 特別の教育課程の評 価結果について https://jinis.jp/assessment/	左に同じ

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

インターナショナルランゲージとしての英語でのコミュニケーション力を効果的に身につけるため小学校段階より学習指導要領を英語で学ぶイマージョン教育を実施する。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

急速に進展するグローバル社会においては、本校では世界の人々と未来を拓く勇氣もち、友情を育むことのできる人を育てることを使命としている。そのために、学習指導要領の内容を英語で指導することで、児童への国際社会における多様な視点を取り入れるだけでなく、日本の良さや文化を理解したアイデンティティの確立も併せて実施する。国際社会での多様性を理解し、個人としても自立した人の育成は必要と考える。

(3) 特例の適用開始日

令和2年4月1日

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

特になし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- (実施している
 実施していない)

<特記事項>

特別な教育課程の実施状況の把握・検証にあたっては管理機関が認定校の自己評価および学校関係者評価の項目・内容、実施にも関わり、評価結果を確認のうえ公表した。

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

自己評価および学校関係者評価による点検、評価結果を踏まえ、小学校段階におけるグローバル人材育成のため、教員配置等の実施体制の工夫や学力の状況等、実施による効果について確認している。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

自己評価および学校関係者評価による点検、評価結果を踏まえ、指導計画および授業内容等、法律に規定する教育目標に照らして適切であり、学習指導要領に定める内容事項についても確認、全体管理を行っていることを確認している。

5. 課題の改善のための取組の方向性

- 自己評価および学校関係者評価を継続的に行うための内容の確認と更新。
- コロナウィルス感染症への感染対策等に十分に配慮しながらも、取り組みの成果の発信を積極的に行う。
- 全寮制という枠組みを意識した教育活動への取り組みの更なる充実。
- 日本語と英語で学習する内容の追加や見直しなど、継続したカリキュラム開発と必要に応じた教育課程特例校の変更申請。